

帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業 成果イメージ

[成果目標]
年3回実施

運営協議会

日本語初期指導教室の運営方針
日本語指導体制の策定と評価

- メンバー 学識関係者、学校関係者、行政関係者
- 内容 指導・支援の在り方について協議

連絡協議会

現場の現状共有・指導方法の改善と研修

- メンバー 日本語教室担当者、学校関係者、アドバイザー
- 内容 情報共有、実践交流、指導者への研修

[成果目標]
年3回実施

「特別の教育課程」による日本語指導

- ・ 個別の指導計画 → 担任、日本語指導担当、教科担当が連携し作成
- ・ 適切な評価 → 日本語能力の向上度を学びの姿で保護者へ伝達

日本語初期指導教室

登校開始から30日間 集中学習

- ・ 専門性の高い指導者へ業務委託
- ・ 日常会話、ひらがなの読み書きを学習し、学校生活を支援

[成果目標]
初期指導の
必要な児童生徒
の連携
100%

各校における日本語指導

児童生徒の実態に合わせた指導体制

- ・ 集住地区に日本語教室を設置（5校）
- ・ その他の学校には非常勤講師を配置し、個別の指導計画をもとに指導

[成果目標]
アンケートによる
肯定的評価
80%以上

連携・フォロー・助言

成果の普及

取組・成果・課題の広域共有
ホームページ等を通じて、本事業の報告や成果を広く発信・普及

[成果目標]
年1回以上
更新